

県立広島大学大学院総合学術研究科における大学院生の教育研究環境に関するアンケート調査報告（平成30年度実施）

実施期間 平成30年12月～平成31年2月

アンケート配布数：150名（人間文化学専攻23名，情報マネジメント専攻17名，生命システム科学専攻58名，保健福祉学専攻52名）

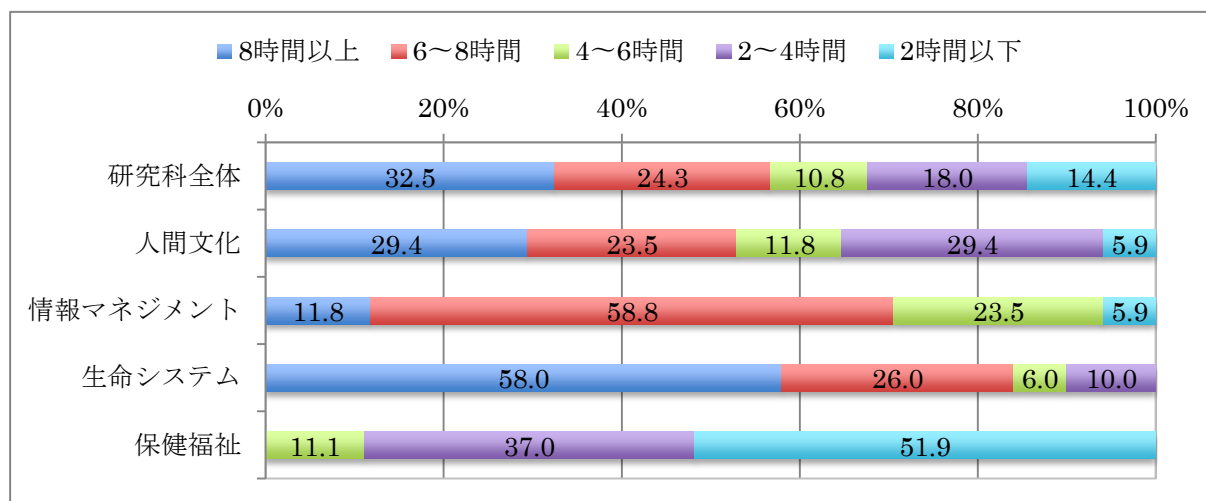
回収数：111名（人間文化学専攻17名，情報マネジメント専攻17名，生命システム科学専攻50名，保健福祉学専攻27名）

平成30年度アンケート調査では，総計111名（74.0%）の院生が回答した。専攻毎の回収率は，人間文化学専攻73.9%，情報マネジメント専攻100%，生命システム科学専攻86.2%，保健福祉学専攻51.9%であった。

【学習・研究・授業に関する質問】

1. あなたが学修や研究に充てる1日あたりの時間。

1	8時間以上	2	6～8時間	3	4～6時間	4	2～4時間	5	2時間以下
---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------



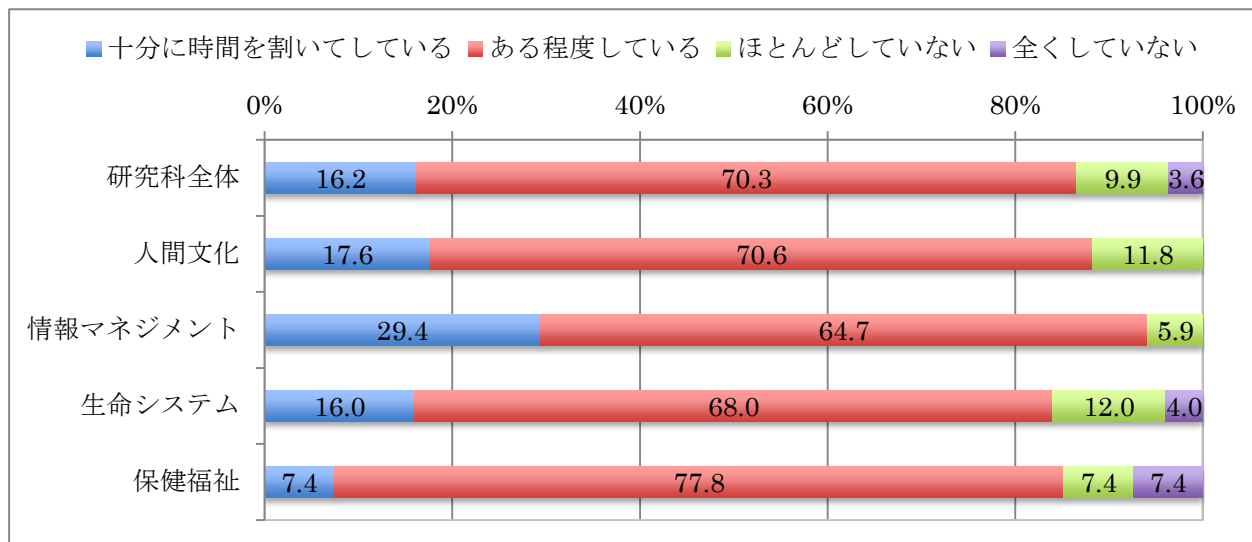
研究科全体では，学習や研究にあてている時間が「8時間以上」が32.5%，「6～8時間」が24.3%となっている。専攻の特性により分布が異なっている。

保健福祉学専攻など社会人の多い専攻では，1日あたりの学習や研究にあてる時間が少なくなっているが，長期履修制度の活用により，計画的に教育課程を履修し，研究時間を確保している。

一方で，社会人が少ない生命システム科学専攻では「8時間以上」が58%，「6～8時間」が26%と研究時間が多くなっている。

2. 履修している授業のために、授業外学修（課題、準備、復習等）をしている。

1	十分にしている	2	ある程度している	3	ほとんどしていない	4	全くしていない
---	---------	---	----------	---	-----------	---	---------

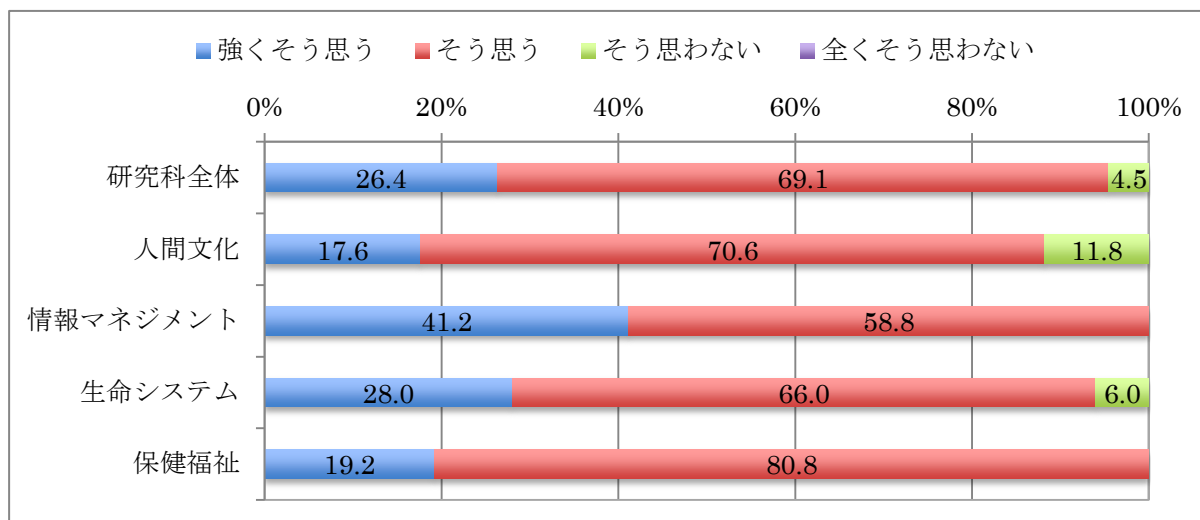


研究科全体で肯定的な回答は86.5%であった。

いずれの専攻も約85%以上の学生が「十分に時間を割いている」「ある程度している」と回答しており、意欲的に取り組んでいることがうかがえる。

3. あなたが履修した、又は履修している授業は、目標が明確で体系的に行われている。

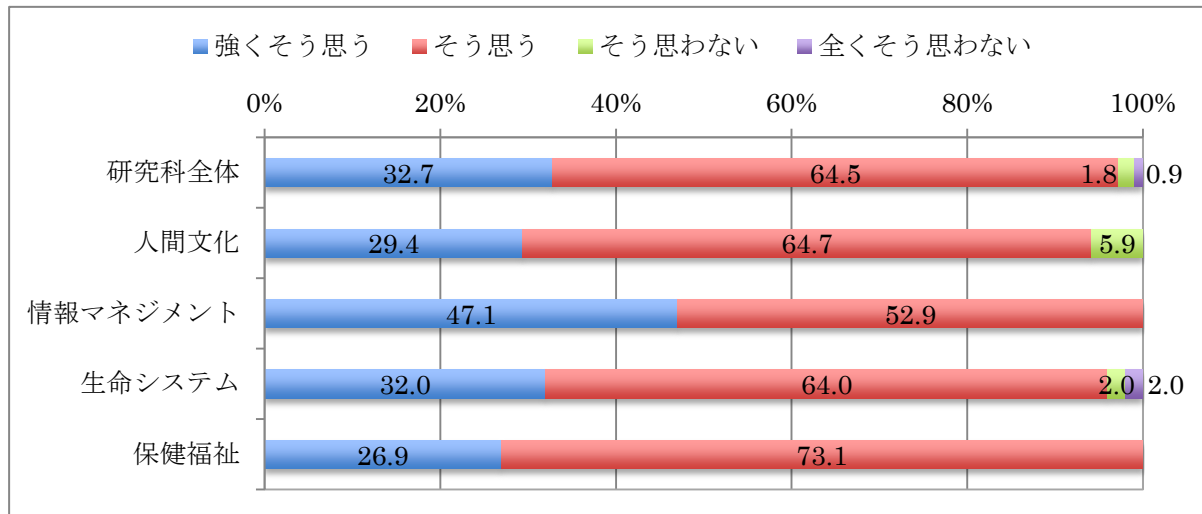
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



研究科全体で、「強くそう思う」、「そう思う」と回答した割合は95.5%であり、授業の目標は明確で、体系的と感じている。保健福祉学専攻、情報マネジメント選考においては、「強くそう思う」、「そう思う」と回答した割合は100%であった。

4. 教員の授業に対する準備は十分で、内容がよく整理されている。

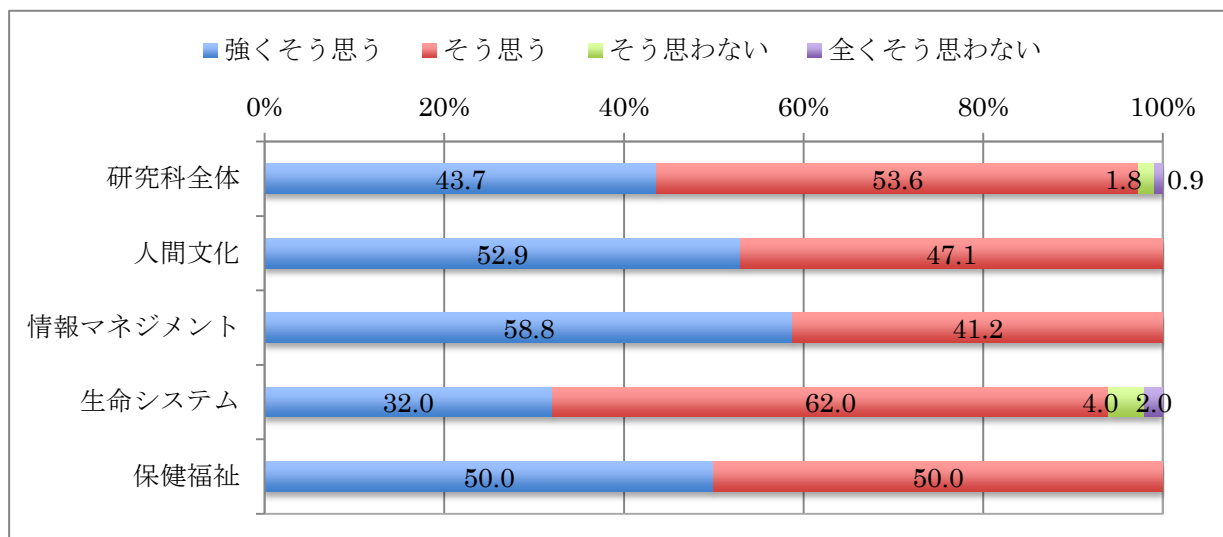
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



いずれの専攻でも肯定的な回答は94%以上となっており、講義に対する教員の準備は十分で、内容は整理されていると回答している。

5. 教員の研究内容や専門領域が伝わる良い授業が行われている。

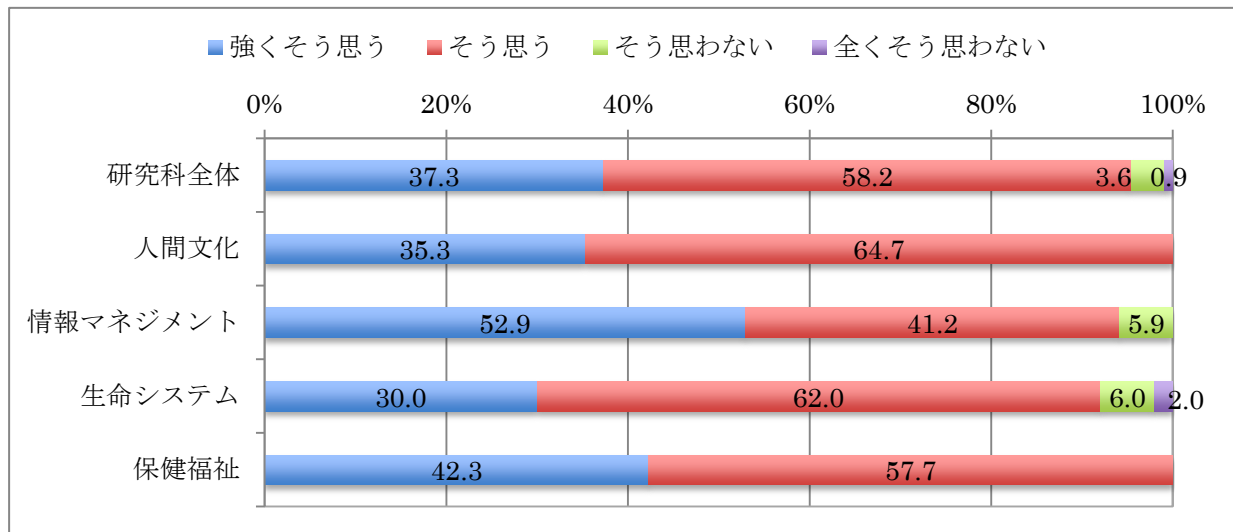
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



いずれの専攻でも肯定的な回答は94%以上となっており、研究内容や専門領域の伝わる良い講義であったかの質問に対して「強くそう思う」または「そう思う」と回答している。
生命システム科学専攻は「そう思わない」数値がやや高い。

6. 授業内容は大学院の授業として適切に行われている。

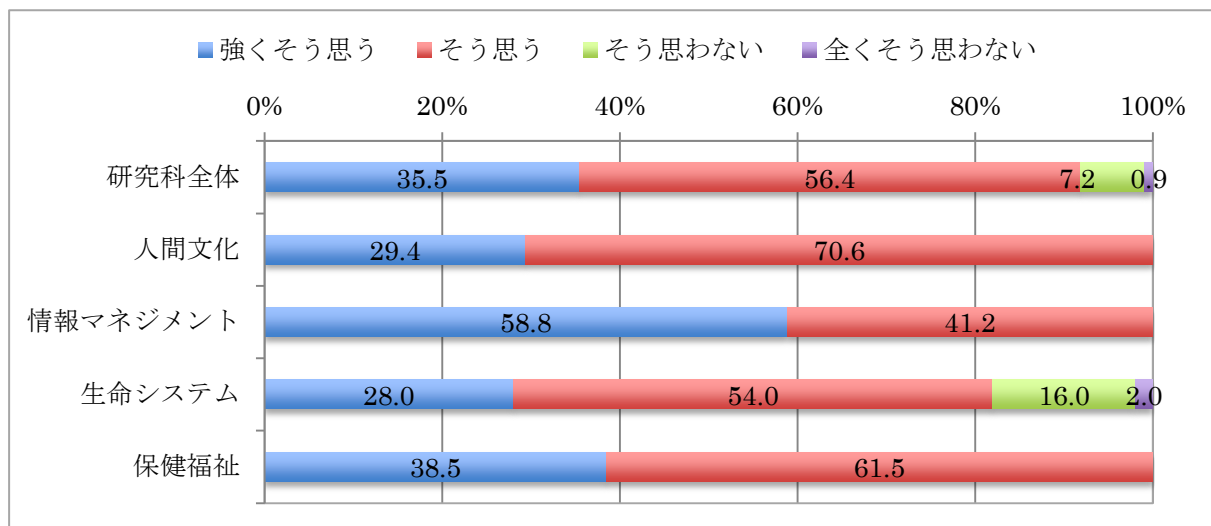
1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------



研究科全体では、肯定的な回答は95%以上となっている。
 いずれの専攻でも、90%以上が授業内容は適切であると回答している。

7. 授業に関し、教員の熱意が感じられる。

1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------

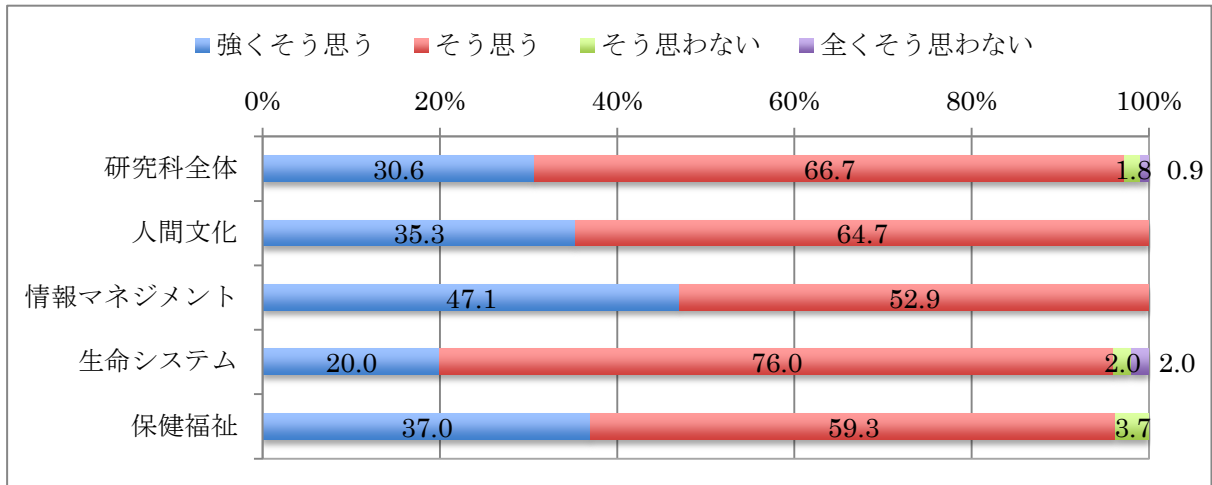


生命システム科学専攻は肯定的な回答が他の専攻が100%であるのに対して82%とやや低い。全体として教員の取り組み姿勢は評価されているので、生命システム科学専攻では改善が望まれる。

【成績評価に関する質問】

8. 授業の成績評価は適切に行われている。

1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------

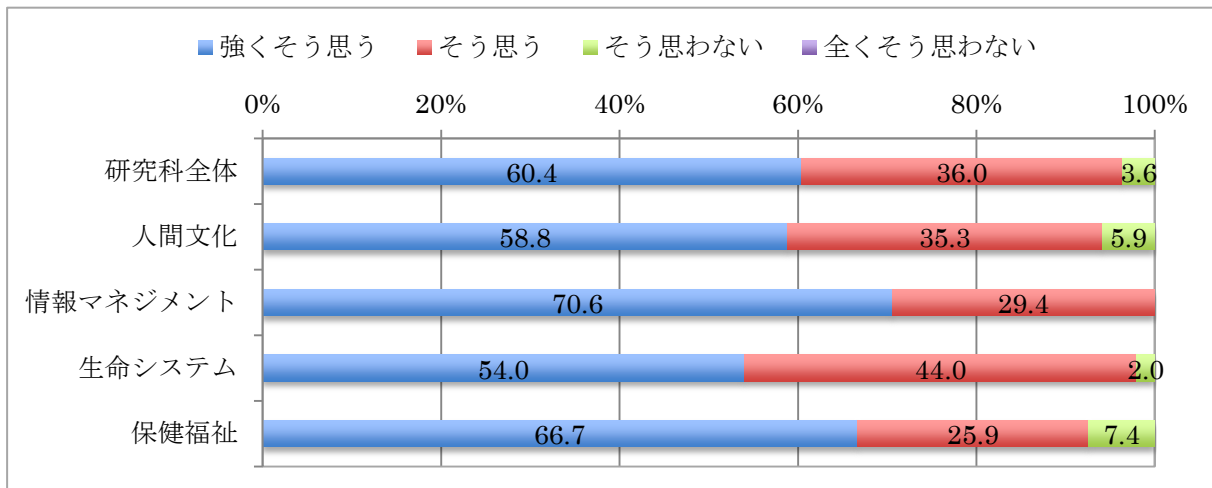


研究科全体では、肯定的な回答は97.3%であり、授業の成績評価は概ね適切に行われている。

【研究指導に関する質問】

9. 専攻での研究指導は適切に行われている。

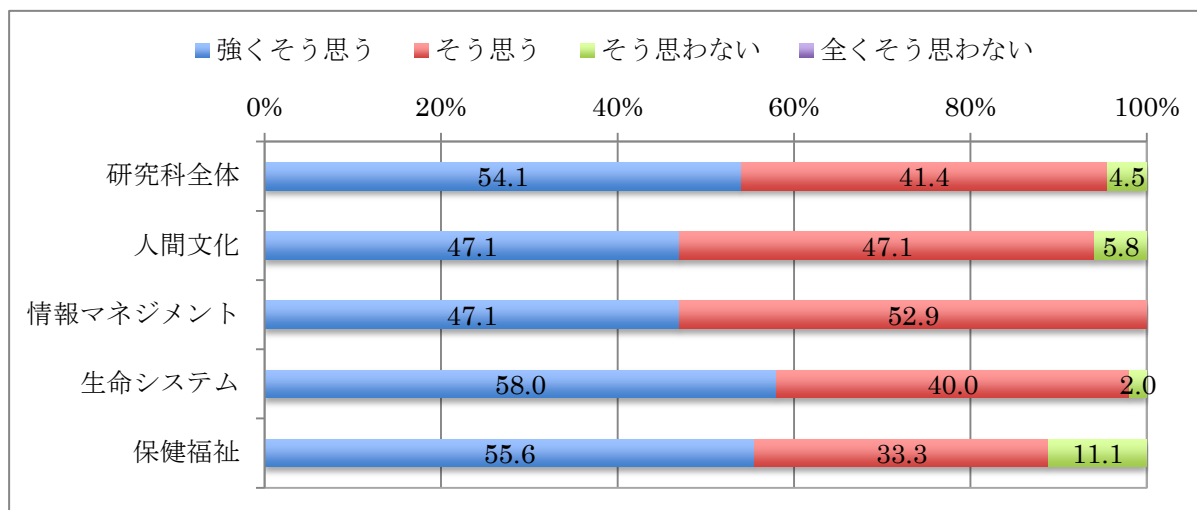
1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------



研究科全体では、96.4%が満足しており今後も維持していくことが望まれる。

10. 現在取り組んでいる研究テーマに満足している。

1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------

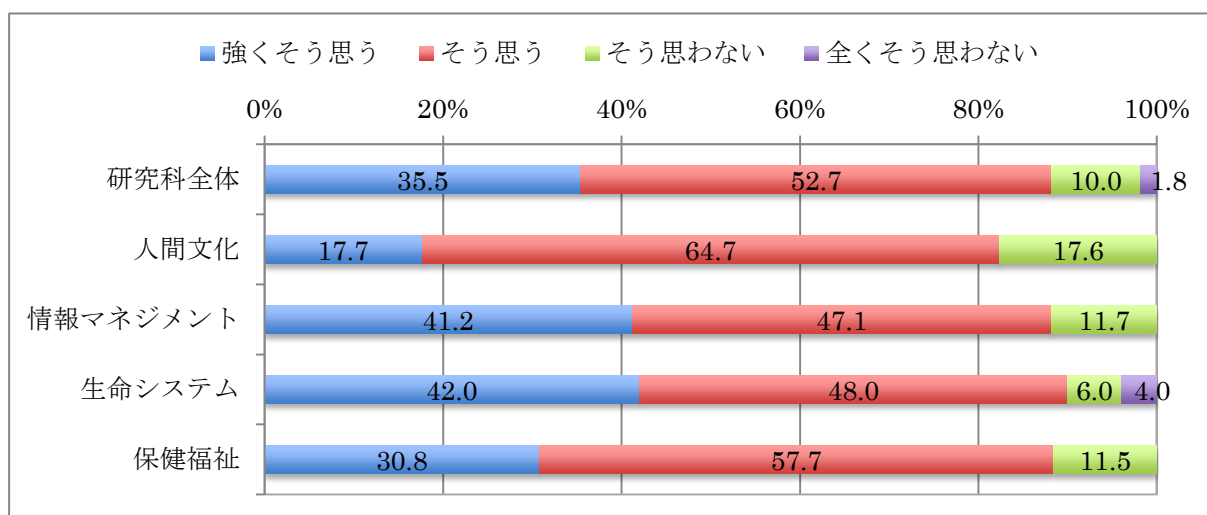


研究科全体では、95.5%が満足しており、今後も維持していくことが望まれる。
保健福祉学専攻では、11.1%の学生が「そう思わない」、「全く思わない」と回答している。

【研究環境に対する質問】

11. あなたの研究環境（実験室）は、質・量ともに良好だ。

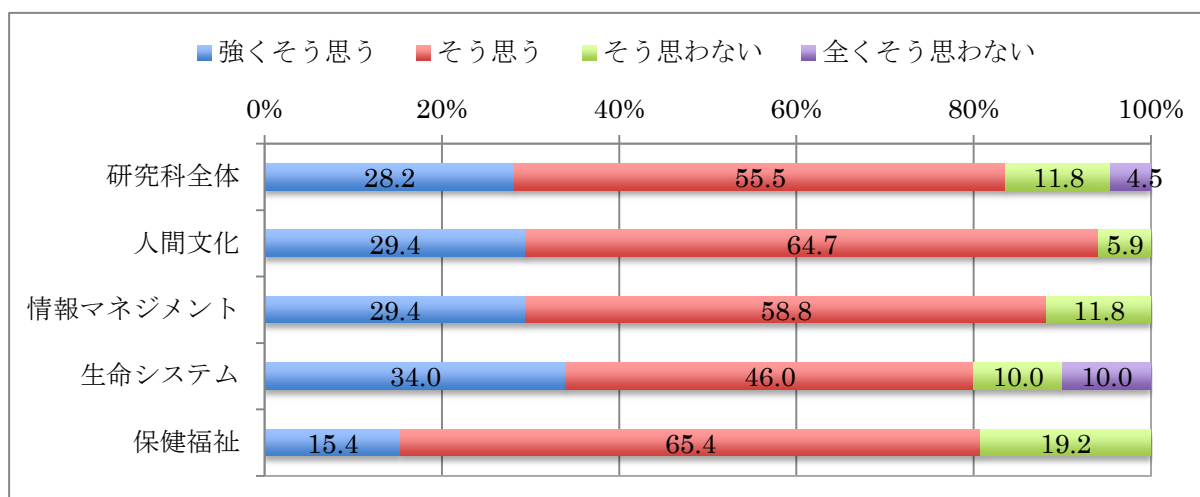
1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------



研究科全体では、肯定的な回答は88.2%である。
人間文化学専攻では、この項目に該当しない（実験のない）言語文化・社会文化の各研究分野があるため「そう思わない」と回答した可能性がある。

1 2. あなたの研究環境（実験機器）は、質・量ともに良好だ。

1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------

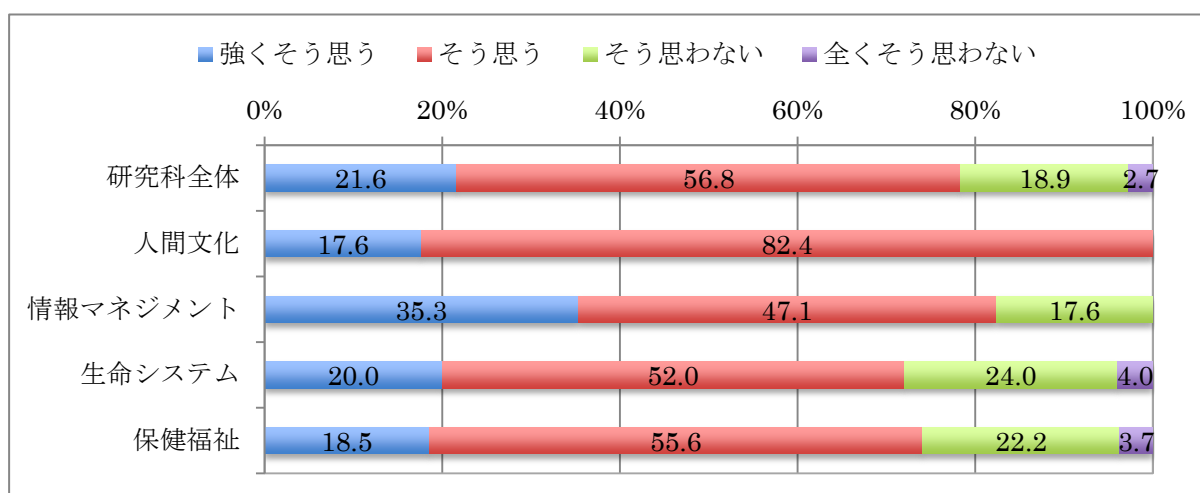


研究科全体では、肯定的な回答は83.7%ある。

保健福祉専攻及び生命システム科学専攻では、「そう思わない」、「全く思わない」との回答が約20%あり、実験機器について、計画的に整備を検討する必要がある。

1 3. あなたの研究環境（図書）は、質・量ともに良好だ。

1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------

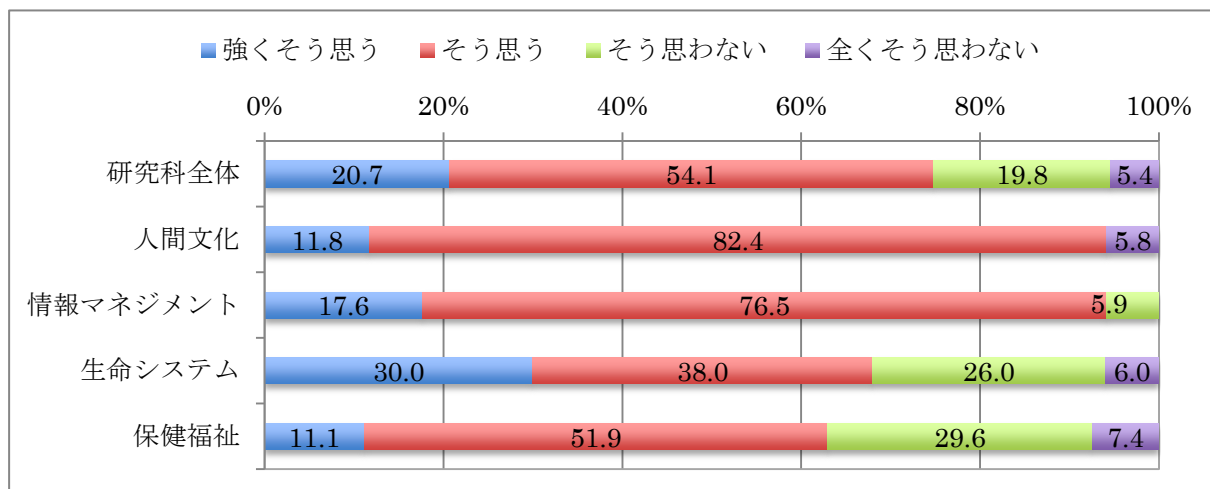


研究科全体では、肯定的な回答は78.4%であり、学生の要望について検討する必要がある。

生命環境システム科学専攻では28%、保健福祉学専攻では25.9%が「そう思わない」、「全く思わない」と回答しており、全体に比べて満足度がやや低くなっている。

14. あなたの研究環境（コンピューター）は、質・量ともに良好だ。

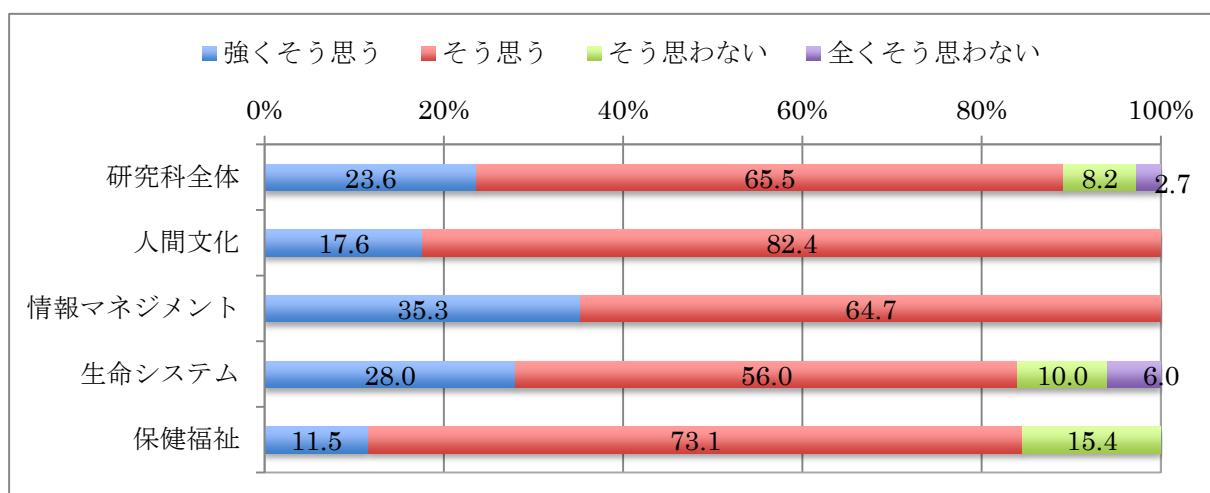
1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------



研究科全体では、肯定的な回答 74.8%である。保健福祉学専攻は 37%、生命システム科学専攻は 32%の学生が「そう思わない」、「全く思わない」と回答しており、学生の要望について検討する必要がある。

15. あなたが使用できる大学院生としての研究用スペースは適切だ。

1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------

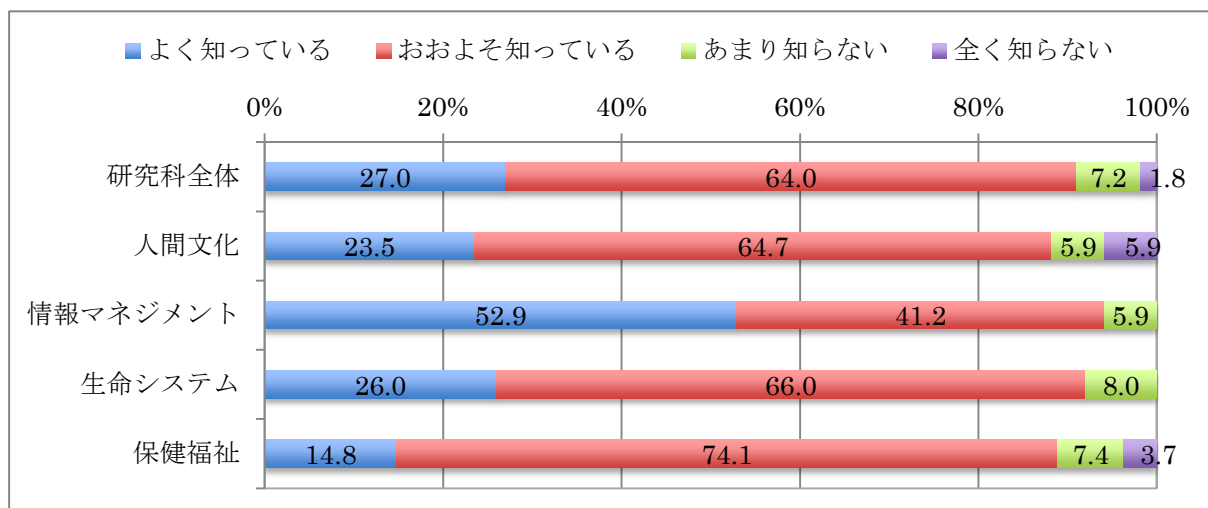


研究科全体では、肯定的な回答は 89.1%である。保健福祉学専攻及び生命システム科学専攻では、全体に比べて約 16%低い値となっている。配属学生の多い研究室については、十分なスペースを確保できない場合があることが課題となっており、検討を行う必要がある。

【学位取得に関する理解に関する質問】

16. あなたは在籍する課程において、学位を取得するためにはどのような前提条件を満たさなければいけないか、研究科や専攻の規則や規程を知っている。

1	よく知っている	2	おおよそ知っている	3	あまり知らない	4	全く知らない
---	---------	---	-----------	---	---------	---	--------



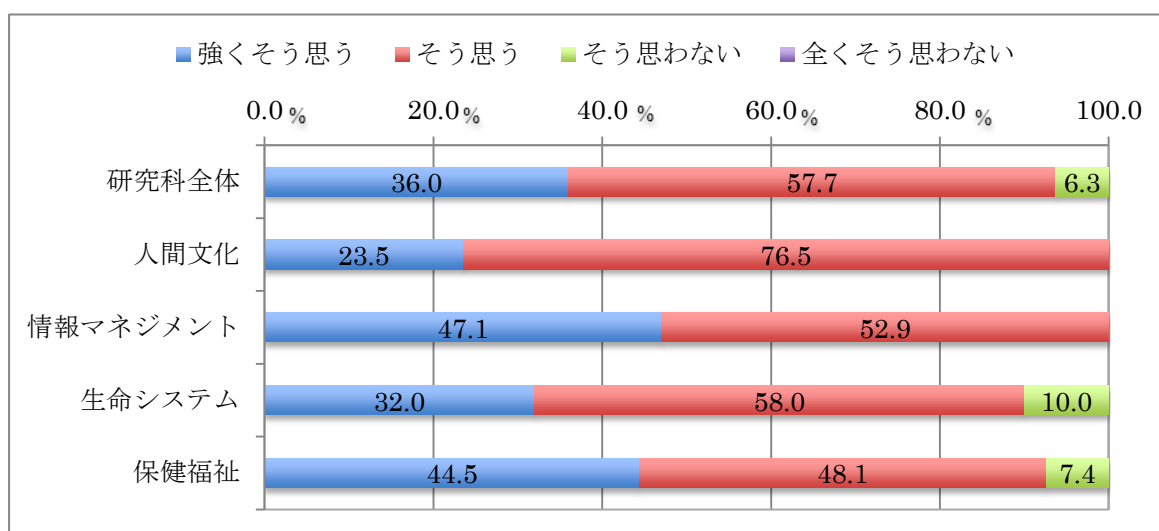
研究科全体では、肯定的な回答は91%であり概ね周知はされている。

各専攻における「学位論文審査及び最終試験実施要領」及び「学位論文に係る評価基準」については、平成29年10月に整備を行い、本学ウェブサイトに公開している。

【大学院に対する満足度に関する質問：全体と修了予定の院生】

17. あなたは総合的に判断して、この大学院に満足している。

1	強くそう思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全くそう思わない
---	--------	---	------	---	--------	---	----------

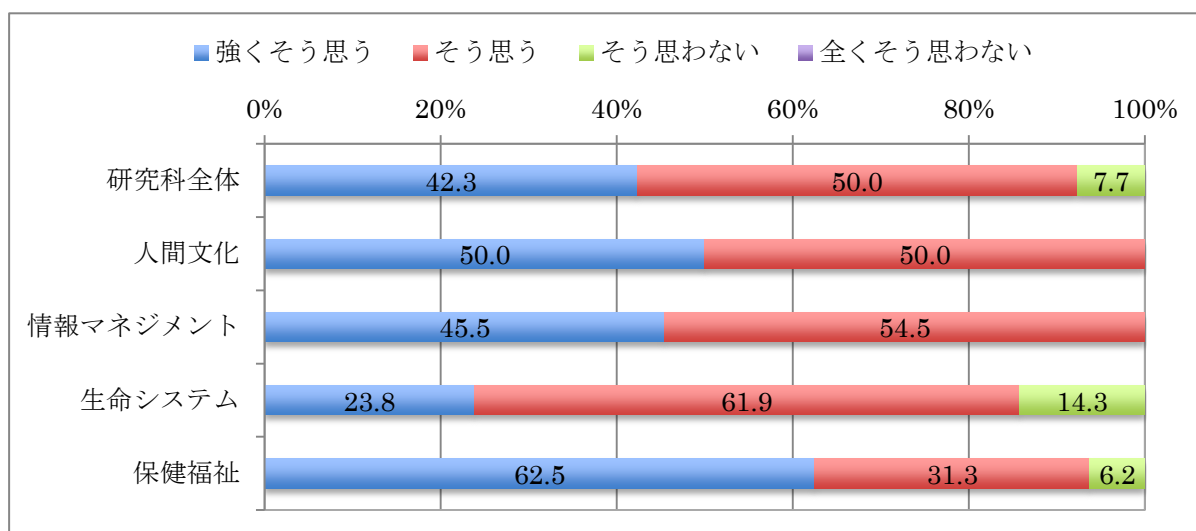


研究科全体では、肯定的な回答は93.7%である。保健福祉学専攻は7.4%、生命システム科学専攻は10%全体に比べて低い値となっており、学生の要望を把握し、改善策を検討する必要がある。

【修了予定院生の大学院に対する満足度に関する質問】

18. 本年度修了予定の院生のみになります。あなたは総合的に判断して、この大学院に満足している。

1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------



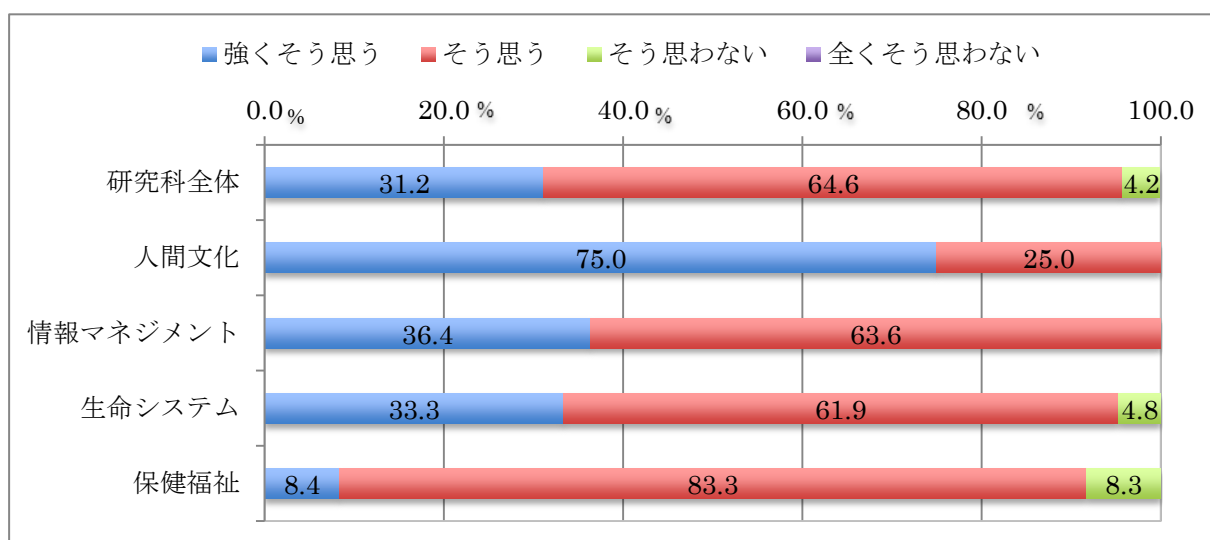
研究科全体では、肯定的な回答は92.3%である。

保健福祉学専攻は6.3%、生命システム科学専攻では14.3%「そう思わない」と回答しており、全体に比べて低い値となっている。研究環境の満足度が低いことから全体の満足度が低くなったと推測される。今後、改善の検討が必要である。

【修了予定院生の就職に対する満足度に関する質問】

19. 本年度に修了予定の院生に聞きます。内定した就職先については満足している。

1	強く思う	2	そう思う	3	そう思わない	4	全く思わない
---	------	---	------	---	--------	---	--------



研究科全体では、95.8%が肯定的な回答である。人間文化学専攻では満足度が高く、「強く思う」が75%となっている。